

世界第7位の大手海運会社が経営破綻

我々の生活の99%を影で支える海運業界の危機

ダイヤモンド・
ビジネス企画
新刊のお知らせ



世界の海を舞台に
最適なルートを科学する

菅哲賢 (著)

ダイヤモンド・ビジネス企画 発行

株式会社ダイヤモンド・ビジネス企画 代表取締役社長

『最適物流の科学』

舞台は3億6106万㎡。
海を駆け巡る「眠らない仕事」

- ◆ISBN:978-4-478-08429-8
- ◆四六版・上製
- ◆1,500円(税別)
- ◆発行:ダイヤモンド・ビジネス企画
- ◆発売:ダイヤモンド社

著者:菅 哲賢

ジャバントラスト株式会社 代表取締役社長

1971年京都府生まれ。南山大学卒業後、YKK株式会社入社。貿易会社を営む父親の影響を受け、1995年、24歳の時に脱サラして共同経営者として「船を持たない海運業者」(NVOCC) ジャバントラスト株式会社を設立。2000年、29歳の時に同社代表取締役社長に就任。

大手の資本が入っていない個人独資の海運業者として、創業当初は、既存顧客ゼロからスタート。まったく知名度がない状態から、一社一社地道に新規顧客の開拓を続けた結果、2016年度日本発北米向け取扱本数NVOCC世界ランキング6位(9.627TEU)にまで成長させる。その過程で、荷主、乙仲(通関業者)、国内外の船会社、物流業者、フォワーダー、NVOCCと交わした名刺の数は、28,000枚以上にのぼる。また、大手外資系船会社の本国にある本社を定期的に歴訪し、世界各国の船会社の本社にも直接交渉するパイプを持っている。

幼少期から貿易業を営む父親(荷主)の言動に慣れ親しんでいたため、荷主の立場をよく理解している。常に荷主の利益・利便性と輸送品質・安全性を最優先に考えてくれると、大手荷主からも評判となっている。

◆海運業界の低価格競争の終焉、そのとき荷主はどうする？

2017年7月、日本郵船、商船三井、川崎汽船の3社は、コンテナ船事業を統合して新会社「オーシャン・ネットワーク・エクスプレス」を設立。これにより、日本で外航定期航路を持つ船会社は実質1社となった。こうした海運業界再編の動きは、日本に限らず世界規模で進行しており、船会社同士が結びつくアライアンス(同盟)が結成されている。

業界再編が目まぐるしく進む背景には、海運業界が厳しい不況の波にさらされているという現状がある。これをもたらした一因が、コンテナ船の大型化による船腹量の増加だ。輸送効率を上げてコスト削減を追求したことが船腹の供給過剰を招き、それが運賃下落をもたらした。結果として経営を圧迫するという悪循環の渦中にある。行き過ぎた自由競争により、全船会社に赤字が続き、船会社が吸収合併や破綻によってここ数年で半数近くまで減少した状況は、決して健全とはいえない。また、荷主も、船会社が赤字に陥るほどの安い運賃は望んでいない。

むしろ、「運賃が上がってもいいから、安定したサービスや豊富な選択肢を維持してほしい」といった声をよく耳にする。荷主に懸念を抱かせるレベルまで運賃が下がってしまっているのが現状なのだ。

◆不況という荒波を船会社はいかにして乗り越えるのか？

本書は船を持たない国際海運会社(NVOCC)・ジャバントラスト株式会社が発立以来22年間、多くの企業から寄せられた多種多様な課題、マスメディアからは得ることができない海運業界の実態を徹底解説。

実際の取引事例を紹介しながら、物流・海運業の過去・現在・未来を明らかにすることで、「最適物流」とは何なのかを伝える。併せて、海運業界の現状と当面の課題、将来的な「あるべき姿」について著したものである。

Contents

はじめに

序章 舞台は3億6106万㎡。海を駆け巡る「眠らない仕事」

第一章 物流の歴史、進化とともに歩んだ「海上輸送」

～海運業とはいかなるビジネスなのか

第二章 船を持たない海上輸送のプロフェッショナルたち

～国際物流で重要になるフォワーダーの果たす役割

第三章 荷主が知っておきたい海運会社の種別と特徴

～物流の依頼で押さえておきたい三つの基準

第四章 海運会社の実力がわかる三つのポイント

～イレギュラーな事態にはどう対応するか

第五章 一問一答。海運業への疑問に答えませ

～基礎編から応用的な物流依頼まで

終章 海運業界は時代的大海原をどのように航海すべきか

～国の生命線を守れ！

おわりに

【この件に関するお問い合わせ先】

掲載、プレゼントについてのお問い合わせ、本書ご要望の方は是非ご連絡ください。E-mail: mail@diamond-biz.co.jp

株式会社ダイヤモンド・ビジネス企画 <http://www.diamond-biz.co.in>

担当:水早 TEL 03-5205-7076(代表番号) FAX 03-5201-1150